医療連携 つつじ
2023年 冬号
45号

東京山手メディカルセンター　〒169-0073 新宿区百人町3-22-1
総合医療相談センター　☎03-3364-0366　FAX 03-3365-5951　https://yamate.jcho.go.jp/

TOPIX

▶ 新年の御挨拶／院長　矢野　哲
▶ 新任のご挨拶／呼吸器内科医長　東海林 寛樹
▶ 歯科・口腔外科のご案内／歯科・口腔外科部長　中野 雅昭
▶ リハビリテーション科を紹介します／リハビリテーション科 理学療法士長　一条 ふくこ
▶ 質問にお答えします／炎症性腸疾患センター長　深田 雅之
▶ 医療連携室よりお知らせ
▶ 外来担当表

新年の御挨拶

院長　矢野　哲

病院長職を拝命してから、間もなく５年が経ちます。当院では、東京都区西部二次医療圏の地域急性期病院として最善の医療の提供に邁進しております。常日頃より医療連携にて当院をお引き立ていただき、厚く御礼申し上げます。当院は 2014 年４月に独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）の一員となって早くも 10 年目を迎えます。2019 年に認定された「地域医療支援病院」として「かかりつけ医」の先生方との医療連携をますます強化していく所存です。４月には、長年にわたり外科全般を牽引してきた柴崎正幸統括診療部長が外科顧問に就き、その後任として高澤賢次心臓血管外科部長・心臓病センター長が昇格します。それに伴い、恵木康壮集中治療科部長が心臓血管外科部長、薄井宙男循環器内科部長が心臓病センター長を併任します。３月末に退職する宮野一樹耳鼻咽喉科部長の後任として、東京都教職員互助会三楽病院の金谷佳織耳鼻咽喉科部長が着任します。昨年 10 月より「救急応需率」を上げ「断らない医療」を推進するために、笠井昭吾救急科・総合診療科部長は地域医療連携室長職を退いて救急車対応に専念し、代わりに三浦英明肝臓内科部長が地域医療連携室長を併任し、橋本政典副院長と共に平日午前 11 時以降に連携登録医から御紹介の walk in 救急患者さんへの対応調整をすることになりました。「歯科」は、診療内容との整合性をとるために診療科名を「歯科・口腔外科」に変更しました。詳細な診療内容につきましては、当院ホームページの診療科案内のサイトを御参照頂ければ幸いです。

2022 年も、SARS-CoV-2 オミクロン株とその派生型による感染拡大に世界中が翻弄された１年間でした。2021 年２月 17 日より全国に先駆けて医療者に対する SARS-CoV-2 ワクチン（ファイザー社製 mRNA ワクチン）の１回目接種を始めましたが、昨年 10 月からはオミクロン株（BA.4-5）対応型ワクチンによる５回目接種を医療者・住民に対して継続しています。昨年 12 月には新たな感染症危機に備える「改正感染症法」が成立し、2024 年４月に施行されます。当院は地域医療・在宅医療に携わる先生方と共に感染症対策を含めた地域包括ケアシステムを円滑に構築して参りたいと考えております。

今後とも引き続き何卒よろしくお願い申し上げます。

新任のご挨拶

呼吸器内科医長　東海林 寛樹

新宿区でご診療されております先生方におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃よりご指導・ご支援を賜りまして心より感謝を申し上げます。

令和４年４月１日付けで独立行政法人地域医療機能推進機構 東京山手メディカルセンターに呼吸器内科医長として着任いたしました、東海林寛樹と申します。

平成 23 年に千葉大学医学部を卒業し、千葉県済生会習志野病院と JR 東京総合病院で臨床研修を行いました。その後、平成 28 年から令和３年まで千葉大学医学部付属病院に勤務し、同大学院博士課程を修了しました。附属病院・大学院では主に肺高血圧症とびまん性肺疾患の臨床と研究に携わりました。昨年度は東京労災病院に勤務し、呼吸器一般疾患のほか、特に COVID-19 診療に従事しておりました。呼吸器疾患のなかでも特にびまん性肺疾患と肺高血圧症に興味をもって診療しております。

呼吸器内科を志したのは千葉県済生会習志野病院での初期研修でした。当時開設まもなくであった呼吸器内科で黒田文伸先生には多くのご指導を賜りました。肺癌をはじめとした腫瘍性疾患、感染症、びまん性肺疾患、肺循環疾患など呼吸器内科の疾患領域の広さと深さに大変感銘を受けました。呼吸器疾患を学ぶ中で特にびまん性肺疾患と肺高血圧症に興味を持ち、それらの診療経験が豊富な JR 東京総合病院で後期研修を行いました。山口哲生先生、山田嘉仁先生にはびまん性肺疾患の画像読影や右心カテーテル検査の手技など、一から丁寧なご指導を賜りました。私の臨床に対する姿勢は臨床研修での経験から形作られたといっても過言ではなく、その後の附属病院・大学院での活動にも多大な影響を与えていただきました。

JR 東京総合病院での研修当時、東京山手メディカルセンターでは多施設参加型の呼吸器疾患勉強会が隔月で開催されておりました。都内の拠点病院の先生方と直接交流ができ、自己研鑽のための非常にありがたい機会でした。代表世話人であった徳田均先生は他施設の研修医に対しても分け隔てなく熱心なご指導をしてくださりました。こうして東京山手メディカルセンターに入職し、顧問の徳田均先生に直接指導を賜れる機会を得たことを、感慨深く思っております。

さて、令和４年 12 月８日に新宿区の呼吸器疾患医療連携会が開催され、私からは市中肺炎の画像・臨床像に関してお話しさせていただきました。現在流行している COVID-19 はほとんどがオミクロン株であり、重篤な呼吸不全はもとより、肺炎自体を診療する頻度がかなり減ってきております。今後 COVID-19 と共生・共存する道を模索していく中、一般的な市中肺炎の重要性を再認識する必要があります。講演では、肺炎球菌、クレブシエラ、マイコプラズマ、クラミドフィラ、レジオネラなど代表的な市中肺炎の特徴を実際の症例を交えてご紹介しました。市中肺炎の多くがキノロンに対して良好な感受性を有しております。バイオアベイラビリティの高いキノロンは特に外来診療において頼もしいツールですが、耐性菌や抗酸菌には留意しておく必要があります。

当科はびまん性肺疾患をはじめ、肺癌や感染症など幅広く診療に取り組んでおります。胸部異常陰影や呼吸不全はもちろん、軽症でも判断に迷う例などありましたら、お気軽にご相談いただけますと幸いです。

最後に、当科を受診して良かった、当科に紹介して良かったと感じていただけるよう、きめ細やかな診療に努めてまいります。今後ともご指導・ご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

呼吸器内科外来担当表

	月	火	水	木	金
午　前	徳田 均	笠井 昭吾	井窪 祐美子	石森 太郎	徳田 均
	東海林 寛樹				大河内 康実
午　後	大河内 康実		井窪 祐美子	徳田 均	大河内 康実
				大河内 康実	

歯科・口腔外科のご案内

歯科・口腔外科部長　中野 雅昭

歯科口腔外科部長を拝命致しております中野と申します。

令和４年 11 月１日より標榜名を「歯科」から「歯科・口腔外科」に変更しましたので、この機会に当科のご紹介をさせて頂きます。

歯科は、昭和 22 年 11 月に当院が社会保険山手病院として発足した当初から内科、外科、産婦人科と共に開設されており、社会保険医療のモデルとして一般歯科診療（むし歯、歯周病、普通抜歯、義歯など）を行っていました。

私は平成４年に東京医科歯科大学顎口腔機能治療部（現：（専）顎顔面補綴外来）から医員として赴任しました。平成 10 年の所属長就任を機に、病院歯科として歯科疾患に幅広く対応できるよう同大学口腔外科学講座と連携をとり、常勤口腔外科医が着任しました。平成 25 年からは熊谷医員が活躍しており、診療内容の整合性から今回の標榜名の変更となりました。地域歯科医師会にも入会しており、近隣の歯科診療所から多くの患者さんをご紹介頂いております。

診療内容

全身疾患を有する方の診療

心疾患、肝疾患、腎疾患、糖尿病、感染症などの全身疾患を有する患者さんの一般歯科診療を行っています（小児歯科を除く）。他科で入院中の患者さんの歯科治療依頼にも積極的に対応しています。抗血栓療法中の患者さんに対する観血的処置、感染などに起因する急性炎症時の処置や睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置による治療なども行っており、必要に応じて院内各科のコンサルトを受けながら連携の上診療にあたっています。

骨粗鬆症やがんの骨転移に対するビスホスホネート製剤、デノスマブ、ベバシズマブ、ロモソズマブなどは、副作用として顎骨壊死が報告されているので、導入前に主治医に依頼して頂き、口腔内の感染源チェック、抜歯などの観血的処置や口腔清掃を行っています。

口腔外科診療

埋伏智歯（親知らず）抜歯、歯性感染症、良性腫瘍や嚢胞病変、外傷（歯の脱臼や骨折、口腔内裂傷など）、粘膜疾患（口内炎、扁平苔癬など）や顎関節症に対する治療など多岐に対応しています。悪性腫瘍に関しては東京医科歯科大学口腔外科と連携しています。外来での小手術以外に、複数の埋伏歯の抜歯や嚢胞摘出、骨隆起除去などに対する全身麻酔下での入院手術も行っています。

インプラント、顎義歯診療

顎口腔機能を回復させることが当科の役割のひとつであるため、デンタルインプラントによる咬合再建や、口腔内にがんの切除や口唇裂口蓋裂などによる欠損のある方の顎義歯作成なども行っています。

口腔ケア

●周術期等口腔機能管理

がんや心臓血管外科、整形外科、脳神経外科などの全身麻酔手術や、化学療法、緩和医療中に行う周術期等口腔機能管理（依頼は年間約 500 件）に力を入れています。全身麻酔手術では術後に誤嚥性肺炎や合併症を起こすリスクがあるので、術前、術後の口腔ケアが必要で、化学療法では白血球数が減少した際感染による歯周病の増悪や口内炎、口腔乾燥、味覚異常などが生じるので、定期的に口腔ケアを行っています。

●病棟口腔ケア

他科入院中の臥床患者に対して誤嚥性肺炎予防などの目的で、年間 2000 件以上の病棟での口腔ケアを、NST チームとして年間 500 件以上の歯科介入を行っています。DMST チームとして糖尿病教室や、糖尿病入院患者の口腔チェック、教育入院患者に対する歯周病講義や口腔清掃なども行っています。口腔ケア、口腔清掃は、歯科衛生士が中心となって行っています。

一般歯科診療や、入院前、退院後の周術期等口腔機能管理に関しては、できるだけ地域の歯科診療所と連携をとり、ご紹介させて頂いています。今後ともよろしくお願い申し上げます。

口腔外科診療実績（2021 年度）

埋伏智歯	176 例
嚢胞	12 例
炎症	36 例
良性腫瘍	12 例
外傷	34 例
粘膜疾患	15 例
顎関節症	13 例
全身麻酔手術件数	15 例

リハビリテーション科を紹介します

今回、“連携つつじ”にリハビリテーション科の紹介を載せていただくことになりました。執筆を担当しますリハビリテーション科理学療法士長の一条です。よろしくお願いいたします。

リハビリテーション科は当院２階、エレベーターを降り、透析センター（病院通り）のほうへ顔をむけ、右手のほうへ数m進むとすぐ左に入口があります。建物の構造上、エレベーターホールからは患者さんがリハビリテーションをされている状況はほとんど見えませんし、一般の診察では患者さんが来られる機会も少ないため、そこにリハビリテーション室があることをご存知ない患者さんも多いようですが、廊下では人の通りの少ないことを幸いに杖・歩行器を使用した歩行練習や車椅子操作の練習を行ったりしています。

当科は、リハビリテーション科部長の飯島先生の下、理学療法士８名、作業療法士３名、言語聴覚士１名とリハビリ事務兼助手２名が勤務しており、患者さんのリハビリテーションをお手伝いしています。

当科がリハビリテーションの対象とさせていただいているのは当院で入院加療をされている患者さんです。当院は急性期病院ですので、リハビリテーションも発症または入院した直後から依頼がでるケースが大半です。手術の翌日から離床、起立・歩行練習を開始する患者さんも少なくありません。また、その内容も多彩です。

この奥がリハビリ室です

膝の筋力測定中

PT 室

OT 室

ST 室

リハビリテーション科 理学療法士長　一条 ふくこ

対応している疾患は、変形性膝関節症の人工膝関節置換術・脛骨高位骨切り術、転倒による骨折、スポーツ選手の半月板・十字靭帯損傷などの整形外科疾患、圧迫骨折や脊椎腫瘍、脊柱管狭窄症など脊椎外科疾患、心不全や狭心症などの循環器の疾患、肺炎･COPD、肺がん術後などの呼吸器疾患、脳梗塞、脳腫瘍術後の脳血管疾患、その他これらに該当しない外科、消化器内科、血液内科、リウマチ科などの疾患等々、書いているだけで、目がまわってしまいそうですが、スタッフはこれら多くの疾患の病状やリスクに配慮しながら、患者さんの機能回復、家庭・または社会復帰を後押しすべく業務に携わっています。

ちなみに、昨年度リハビリテーションの依頼は、2216 件（理学療法、作業療法、言語聴覚療法、摂食機能療法あわせた件数）で、21 の診療科から依頼をいただきました。最も依頼が多かったのは、整形・脊椎外科で 705 件、続いて循環器内科・心臓血管外科の 308 件、呼吸器内科・外科 299 件、脳血管外科 240 件となっています。また、少数ですが、耳鼻科、産科からの依頼もありました。

私たちリハビリテーションスタッフは業務の大半をリハビリテーション室や病室（病棟）で患者さんにリハビリテーションを提供することに時間を費やしていますが、近年は本来の業務以外の様々な活動から参加を求められることが増えました。以前から糖尿病教室や地域医療連携、NST などに参加させていただき、活動のお手伝いをしていましたが、今年度からは、摂食嚥下機能認定看護師と言語聴覚士が耳鼻咽喉科医の指導のもと摂食嚥下機能回復支援活動を始めています。また、透析センターでは看護師が透析患者の体力維持のために透析リハを開始します（令和５年１月から始まる予定）が、そのお手伝いとして、当科の理学療法士が運動療法の指導という形で参加させていただいています。

このようにリハビリテーション科のスタッフが貢献できる場面が増えるのは、喜ばしいことですが、小数精鋭がモットーの当科なので、人的資源に限りがあり、なかなか皆様の要望にお応えできないのが、頭の痛いところでもあります。

患者さんの損なわれた身体機能を回復するだけでなく、おこりうる身体機能低下を予防していくという面での取り組みも重要となっている昨今の急性期病院のなかで、これから私たちリハビリテーションスタッフには何が出来、なにをするべきなのか、まだまだ模索の日々は続きます。

このような悩み多きリハビリテーション科ですが、今後とも、関係各位のご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

透析室の皆さん研修中です

IBD 患者さんの紹介の目安はありますか？

炎症性腸疾患患者さんの連携診療について

炎症性腸疾患センター長
深田　雅之

当院では IBD センターで多くの IBD 患者さんを診ており、特に難治性の方、重症患者さん、緊急性のある方への対応が可能です。当 IBD センターに患者さんを紹介していただく場合に、表 1 に示す様な重症化リスクファクターをご検討いただけるとわかりやすいと思います。この様なリスクファクターが複数あてはまる場合は、現在の症状が落ち着いていても、将来症状が不安定になる可能性が高いと思われます。

表 1　IBD 患者さんの重症化リスクファクター

潰瘍性大腸炎	クローン病
病変範囲の進展（直腸炎→全大腸炎）	17 歳以下での発症
深掘れ潰瘍	広範な病変範囲
若年発症*	上部消化管病変
CRP 高値	肛門、直腸病変
複数回のステロイド使用歴	深掘れ潰瘍
複数回の入院歴	過去の腸管手術歴
メサラジン製剤不耐例	狭窄、閉塞症状
高齢（60 歳以上）発症	熱などの全身症状
	低栄養
	メサラジン製剤不耐例、無効例

＊当センターでは基本的に 16 歳以上を診ています。

クリニックの先生方へ

潰瘍性大腸炎の場合、5ASA 治療と局所療法で寛解しない症例は地域中核病院へ、重症、炎症反応高値、脱水、経口摂取困難などの症状のある場合、ステロイド治療や生物学的製剤などの新規薬剤で寛解しない症例は、当センターにご紹介いただけたらと思います。

クローン病の場合は、クローン病を疑った時点で CT など行える地域中核病院に紹介することをお勧めします。激しい腹痛、高度な貧血や低栄養、全身状態の悪い患者さん、もしくは表 1 に示したリスクファクターが 2 個以上ある患者さんにおいては直接当センターにご紹介ください。

地域中核病院の先生方へ

潰瘍性大腸炎の場合、治療困難例、劇症化した場合や手術を検討する症例を当センターにご紹介いただけたらと思っております。

クローン病の場合は、CT で小腸病変の疑い、治療困難例、イレウス症状、活動性の肛門病変や上部消化管病変のある方、全身状態の悪い患者さんや手術を検討する症例がいましたら当センターにご紹介ください。

◎急な病状の変化などによりすぐに診てもらいたい場合や入院のご依頼、転院の相談などありましたら、迅速に対応しますので総合医療相談センターまで気軽に連絡ください。

医療連携室よりお知らせ

当院では当日検査のご依頼も承っております。

CT
MRI

当日、検査結果、CD-R
お持ち帰りいただけます！
※作成までお時間を頂く場合がございます

新しい検査始めました

脳血流シンチグラフィ

脳梗塞、てんかん、認知症などの病気の診断に非常に有効だと言われています。

ガリウムシンチグラフィ

悪性腫瘍の診断や治療効果判断、転移診断に有用です。サルコイドーシス、間質性肺炎、骨髄炎、関節炎などの炎症疾患の診断や活性性評価に有用です。不明熱の原因病巣、原発不明癌の検出に使用されます。

お気軽に医療連携室へご連絡ください！

TEL 03-3364-0366

東京山手メディカルセンター　外来担当表

2023年２月

※医師の指定がある場合は、お電話にて休診をご確認ください。　※診療の受付時間は8:30～11:00です。

◆受付時間を過ぎる場合や緊急の場合は総合医療相談室にお問い合わせください。

総合医療相談室（業務時間 午前8:30～午後5:00）　直通 TEL：03-3364-0366　直通 FAX：03-3365-5951

＊女性

科別			月	火	水	木	金
内科	内科１		増田 怜(循)	＊雨宮 未季(循)	薄井 宙男(循)	薄井 宙男(循)	＊川勝 紗樹(循)
			＊河本 梓帆(循)	村上 輔(循)	渡部 真吾(循)	吉川 俊治(循)	鈴木 篤(循)
			佐野 弘二(消)	三浦 英明(肝)	＊柳　富子(血)	三浦 英明(肝)	髙添 正和(炎腸疾)
			長門 直(呼)	＊米野 由希子(血)	＊井窪 祐美子	園田 光(炎腸疾)	大河内 康実(呼)
			＊岩本 志穂(炎腸疾)	園田 光(炎腸疾)	深田 雅之(炎腸疾)	髙添 正和(炎腸疾)	深田 雅之(炎腸疾)
			徳田 均(呼)予約制	笠井 昭吾(呼)	＊小林 晶子(リ･膠)予約制	石森 太郎(呼)	徳田 均(呼)予約制
			東海林 寛樹(呼)		＊酒匂 美奈子(炎腸疾)		齊藤 悠一(消)
			岡野 荘(炎腸疾)	廣瀬 雄紀(消)	齋藤 聡(消)	菊田 修(消)	＊酒匂 美奈子(炎腸疾)
	初　診		交替制	交替制	交替制	三森 明夫	交替制
	IBD初診		深田 雅之	＊酒匂 美奈子	園田 光	深田 雅之	＊岩本 志穂(炎腸疾)
	リウマチ膠原病科(予約制)		＊落合 萌子(午後)	三森 明夫(午後)	金子 駿太(午後)	要確認	三森 明夫(午後)
	内科2		＊高澤 瞳(糖)	鈴木 禎房(糖)	＊中西 直子(糖)	竹下 智史(糖)	＊後藤 麻貴(糖)
			山下 滋雄(糖)	＊堀江 有実子(糖)	＊堀江 有実子(糖)	＊堀越 桃子(糖)	山下 滋雄(糖)
			野本 宏(メンタル)	＊古田 夏紀(メンタル)	鈴木 正志(腎)	＊中島 えり菜(メンタル)	＊塩入 瑛梨子(腎)
大腸･肛門外科	(予約制) 直接肛門科外来にお電話ください。 内線2160		＊古川 聡美	山名 哲郎	＊ 西尾 梨沙	岡本 欣也	大城 泰平
			岡本 欣也	＊西尾 梨沙	大城 泰平	山名 哲郎	＊古川 聡美
			藤本 崇司	工代 哲也	＊ 井上 英美	藤本 崇司	東 侑生
外科	午前	消化器外科 (上部消化管･肝胆膵)	日下 浩二	伊藤 謙太郎	伊地知 正賢	森戸 正顕	柴崎 正幸
			久保田 啓介	柴崎 正幸			
		乳腺外科		柴崎 正幸		橋本 政典	
		形成外科	＊藤田 純美		＊藤田 純美	＊富岡 容子	＊藤田 純美
		呼吸器外科	水谷(第1.3.5)＊山本(2.4)		森田 理一郎	森田 理一郎	水谷 栄基
		心臓血管外科		惠木 康壮	高澤 賢次		明石 興彦
	午後 ※印は予約制直接外来にお電話ください。 内線2120		乳腺外来(～14:00) 橋本 政典	※漢方外来 田中 純哉	※あし外来(第2･4) 惠木 康壮	※ソケイヘルニア外来 伊地知 正賢	※乳腺外来 柴崎 正幸
産婦人科	午前 婦人科	予約	＊嘉和地 成美	＊野村 香央里	＊ 入江 美穂		橋本 耕一
			橋本 耕一		小林 浩一(完全予約制)	＊ 手塚 真紀１．３	＊丸山 麻梨恵
		予約外	＊丸山 麻梨恵	＊大村 恵梨香	橋本 耕一	＊ 大村 恵梨香	＊ 入江 美穂
	午前産科(予約)		小林／＊入江		＊早稲田 凜		鈴木／＊嘉和地
	午後産科(予約)			＊大村 恵理香		＊ 大村 恵理香	
整形　　外科	午前	整形外科	交替制【整形】	田代 俊之	飯島 卓夫	飯島 卓夫	飯島 卓夫
			河野 慎次郎	＊小野寺 瞭子	内田 正樹	田中 哲平	田代 俊之
				佐藤 貴裕	河野 慎次郎		田中1.3.5／内田2.4
		脊椎脊髄外科 (予約制)	平林 茂	休診	休診	侭田 敏且	交代制 初診9:30迄(休診あり)
			侭田 敏且(第2･4)			熊野 洋	
	午後　完全予約制 外来にお電話ください。内線2180					田中 哲平	田代 俊之(膝)
							飯島 卓夫(腫瘍)
脳神経外科	午前		紹介救急(交替制)	武田 泰明(予約／連携) ※診察開始は10:30～	高草木 宏之 (予約／救急)	武田 泰明(予約／連携)	紹介救急(交替制)
				大野 博康(初診／救急)	大野 博康(初診／連携)	神保 洋之(初診／救急)	予備外来
小児科	午前		熊田 篤	熊田 篤	熊田 篤	＊上田 美希	山西 愼吾
			＊西郡 綾子	＊西端 みどり	＊高松 朋子	＊高松 朋子	熊田 篤
			＊高松／＊上田	＊上田 美希	早川 潤	交代制1.3.5 沼部2.4	＊高松／＊上田
	午後　予約外来		熊田／＊高松／＊上田	熊田／＊上田 ＊西端	熊田／＊高松／早川	＊上田／＊高松	熊田／＊高松／＊上田
眼科	午前		地場 達也	地場 達也	地場 達也	地場 達也	地場 達也
				非常勤医師		藤野 雄次郎	
泌尿器科	午前		大村 章太	加藤 司顕	加藤 司顕	休診	加藤／大村
耳鼻咽喉科	午前		宮野 一樹		宮野 一樹	宮野 一樹	宮野 一樹(第1･3･5) 柴崎 仁志(第2･4)
			柴崎 仁志	柴崎 仁志	柴崎 仁志	＊橘 澄	＊水上 藍子
	午後(13:30～14:30)		柴崎(第1･3･5) 宮野(第2･4)	柴崎 仁志	※めまい外来 ＊小村 さやか	宮野 一樹	
皮膚科	午前		鳥居 秀嗣	宮田 龍臣	鳥居 秀嗣	鳥居 秀嗣	鳥居 秀嗣
			＊渡邊 陽香	＊渡邊 陽香	＊渡邊 陽香	＊渡邊 陽香	＊渡邊 陽香
	午後(1:30～3:00)			鳥居 秀嗣	＊渡邊 陽香		
歯科・口腔外科	午前		中野 雅昭	中野 雅昭	中野 雅昭	中野 雅昭	中野 雅昭
			熊谷 順也	熊谷 順也	熊谷 順也	熊谷 順也	熊谷 順也

東京山手（やまて）メディカルセンター

〒169-0073 新宿区百人町3-22-1

総合医療相談センター　☎　03-3364-0366
FAX 03-3365-5951
https://yamate.jcho.go.jp/

この冊子は環境にやさしい有害廃液の出ないクリーン印刷で作成しています